



東京 鎌倉の景色
 関西から関東地方に旅された方が写真を提供して下さいました。楽しい思いが伝わってくる感じがしましたので、いくつか紹介させていただきます。

※緊急事態宣言解除後に撮影された写真です。

ヨシナカ新聞



各国の人口	2位	インド	13億8,000万人	10位	メキシコ	1億2,891万人	
日本の人口は少子化で減少傾向ですが、果たして日本は世界で何番目なのか、急に気になり、調べてみました。2020年の世界人口ランキングは次の通りです。	3位	アメリカ	3億3,100万人	11位	日本	1億2,650万人	
1位 中国	14億3,930万人	4位	インドネシア	2億7,351万人	12位	エチオピア	1億1,502万人
		5位	パキスタン	2億2,092万人	13位	フィリピン	1億961万人
		6位	ブラジル	2億1,260万人	14位	エジプト	1億2,32万人
		7位	ナイジェリア	2億612万人	15位	ベトナム	9,730万人
		8位	バングラデシュ	1億6,471万人	16位	コンゴ	8,960万人
		9位	ロシア	1億4,590万人	17位	トルコ	8,430万人

7月号
 発行所
 株式会社ヨシナカ
 東京営業所
 TEL: 03-3555-0796

人間は引き算が苦手?

環境破壊や働き好き等の問題を人類が解決できない理由について、アメリカの研究チームが「人間は引き算が苦手」というユニークな説を発表し、話題を集めています。

仮説を裏付けるために、「3本の足が外れたベッドを改善する方法」を人々に質問したところ、多くの人が3本の足を付け直すと答え、残った足を外して平にすると答えた人は少数だったことから、人間は引き算が苦手です。課題の解決に必要な「引く」という選択肢を見落としているというのです。

他にも、レシピの改善を求められると、人々は多くの食材を鍋に入れ

たり、旅の日程を見直すように求められると、多くの人は立ち寄り場所を追加しました。このように現代人の足し算脳が問題解決の足枷になっていると言うのです。

関西大学社会学部心理学専門の池内裕美教授は「人間は本能的に足し算が得意な脳になっている可能性」を指摘しています。物や食べ物が無い恐怖を本能的に知っているため、私達は物があることの方が幸せという錯覚に陥りやすいと指摘しています。

また、学校では足し算を先に習うので、引き算の方が考えるエネルギーを使う為、引き算、つまり捨てることが苦手な人は物を捨てられない、年齢を重ねるほど引き算が苦手にな

るので物を溜め込む人が多いのはその為なのだそう。

このように、現在人に足りないと思われる引き算の脳味噌の考え方、意識的に使うと成果や課題の解決につながる事が多いそうです。以下が引き算の成功例とされています。

- ・ソニーのウォークマン
(録音機能を省いて再生機能だけに)
 - ・iPhone
(ガラ携のダイヤルボタンを排除)
 - ・スターバックス
(スパイスや紅茶の販売をやめてコーヒーのみにした。また、匂いの強いピザや喫煙スペースを省いたことによりブランドイメージがアップ)
- ※参照：TBSラジオ「日曜天国」より

特殊鋼豆知識

炭素工具鋼

工具鋼は金属・非金属材料の切削、塑性加工等を行なう工具や治具に用いられる鋼で、日本工業規格においては、炭素工具鋼、合金工具鋼ならびに高速度工具

鋼の3種が定義されています。弊社富山工場です。炭素工具鋼は鉄に炭素(C、0.55-1.50%)、ケイ素(Si、0.10-0.35%)、マンガン(Mn、0.10-0.50%)を含む炭素鋼です。キルド鋼※を圧延または鍛造、据(すえ)込み鍛錬することにより製造します。鋼種はSK60, SK65, SK70, SK75, SK80, SK85, SK90, SK95, SK105, SK120, SK140があります。SKの名称は英語と日本語が混じった略称で、S

はSteel、Kは工具のKです。
 ※キルド鋼：溶鋼の中にアルミニウムなどを添加し充分脱酸(溶鋼中に含まれている酸素を除去する事)を行って铸込んだ鋼塊(鋼のかたまり：インゴット)